

令和8年度都立忍岡高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。 ・英語を運用するために必要な語彙・文法・スキルの習得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器、JETやALTを活用した授業の実施。 ・考查毎に、一斉放送によるリスニングテスト実施。 ・スピーキング・ライティングテスト実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各年次で、ボキャブラリーコンテスト開催 ・全生徒が実用技能英語検定を受験。 ・2年次を対象としたオンライン英会話事業の実施。
情報	<p>情報を活用した課題解決に向けた基礎・基本の定着を図る。</p>	<p>情報機器を活用し、基礎的な知識・技能の習得を重視した授業を行う。 あわせて、思考力を問う課題や探究的な学習活動を取り入れ、自ら課題を解決する力を育成する。</p>	<p>情報Ⅰの学習内容を基盤として、データ活用・分析を通じた課題発見・解決学習を行う。 さらに、各種ソフト(ワープロ・表計算・プログラミング・プレゼンテーション)を活用し、成果の発表まで行う。</p>
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすく書くこと」の指導の充実 ・「熱意をもって話すこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・俳句コンクールへの応募 ・漢字検定受検の奨励 ・実践国語の授業での手紙の書き方の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した小論文・作文指導 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募 ・「探究」でも活きる「わかりやすく話すこと」についての指導方法の開発
数学	<p>基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、問題から条件を読み取って立式する力の育成、自らの考えを論理的に記述できる力など、思考力・判断力・表現力等の育成に重点を置いた指導を行う。</p>	<p>学習の状況に合わせて作成した教材を活用し、題意を読み取って立式する力や関係を見通して考察する力を向上させる。 単元ごとに基本的な技能を定着させる。</p>	<p>既習事項の反復学習により基礎力を向上させる。また発展的な内容の学習により、論理的な思考力・表現力を向上させる。</p>
理科	<p>実験・観察を中心とした実習・体験的な活動をおこない、基礎的な学力の充実をはかる。</p>	<p>授業に進んで実験・観察を実施し、科学的な体験を通して実践的・基本的な知識を理解させる。</p>	<p>実験・観察を通して、理解・検証したことを考察する。加えて疑問点や新しく見出したことを整理し、さらに発展的な実験を計画させる。</p>